



[仕事の便利術] 上手な意見・反論の伝え方

●受講期間 2ヵ月

●受講料 12,100円

マルチデバイス対応

■テキスト1冊 (Webテキストも閲覧可) ■添削レポート2回 (Web提出可)

※ テキストはインターネットで閲覧できます。Web提出には「Microsoft Word」が必要です。

わかりやすく自分の意見を述べる方法、納得してもらえ考え方やその伝え方をていねいに紹介、一つ上のコミュニケーション力の強化を図る
反対意見を述べたり、建設的な批判を述べたりすることは、
前向きの議論を成り立たせ、新たな価値の創造につながる
— 上手な反論の仕方を学ぶ

「侃侃諤諤」は、「正論を吐いて屈しないさま」

「みんなが率直に意見を述べて議論している様子」を表す言葉。

「喧々囂々」ではない、「侃々諤々」の議論のできる基礎力を鍛える



●第1単元

言いたいことをきちんと伝える意見の言い方

- ・「議論」にどんな印象を持っているだろうか
- ・侃々諤々の議論ができるリーダーが求められている
- ・自分の意見をきちんと表現することは難しい
- ・伝える情報量を絞り、シンプルに議論する
- ・5W2Hを織り込んだロジカルな情報を意識する
- ・具体例を示し、相手が理解しやすいように話す
- ・わかりやすく、記憶に残りやすい言葉を選んで話す
- ・相手の興味・関心・理解度に合わせた意見を述べる
- ・聞き手の反応を見ながら話し方を変えよう
- ・言葉の重さを忘れない — 発言に責任を持とう

●第2単元

議論の質を高める効果的な発言・反論の仕方

- ・対話が成り立つ条件 — 反論は言い合うことではない
- ・議論に置ける「反論」の2つのパターン
- ・反論の前にいったん相手の意見を冷静に分析する
- ・積極的な批判は問題を掘り下げ、議論の深化につながる
- ・反論の隙を与えない論理構成のために
- ・あえて反論の余地を残すことで議論を引き出す
- ・主語をどうするかで、展開は違ってくる
- ・議論が行き詰まったら — 押してもダメなら引いてみる
- ・議論に勝っても納得しなければ物事は先にすすまない
- ・言葉は少なくともピリリと辛いひと言が決め手になる

オンラインでもオフラインでも学習できる! (すべての学習方法に対応)

※カリキュラム・講座内容などは改訂や変更になる場合があります。